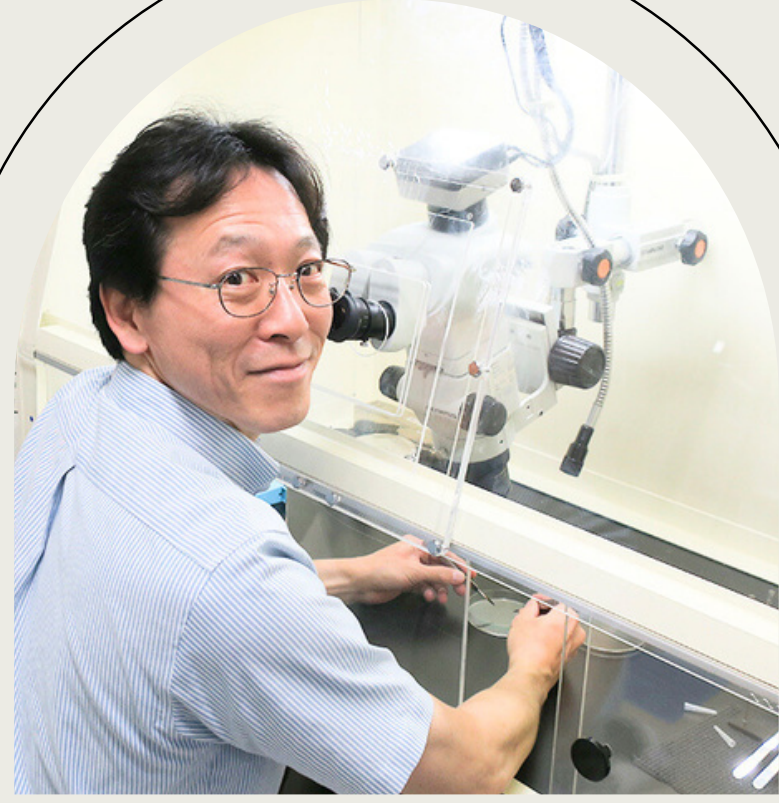


模擬授業テーマ

7.26 (sat)



薬学部

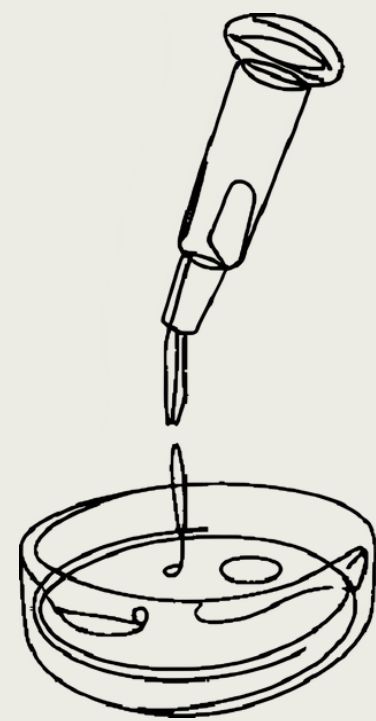
林 秀樹

11:10-11:25
14:20-14:35

応用生化学教室

眼と病と薬

ヒトが外から得る情報の多くは視覚に由来するといわれます。この大切な視覚（眼）にかかわる病気と薬の働きを、我々の研究を交えながらやさしく紹介します。



薬学部

川口 崇

11:25-11:40
14:35-14:50

臨床評価学教室

患者さんの主観をどうサイエンスするか

医薬品などの効果を評価するとき、「患者さんがどう感じるか」は重要な科学的証拠（エビデンス）になります。痛みや生活の質など、主観的な体験を客観的に評価する臨床試験の仕組みを学び、医療における患者の声の価値を探求しましょう。



生命科学部

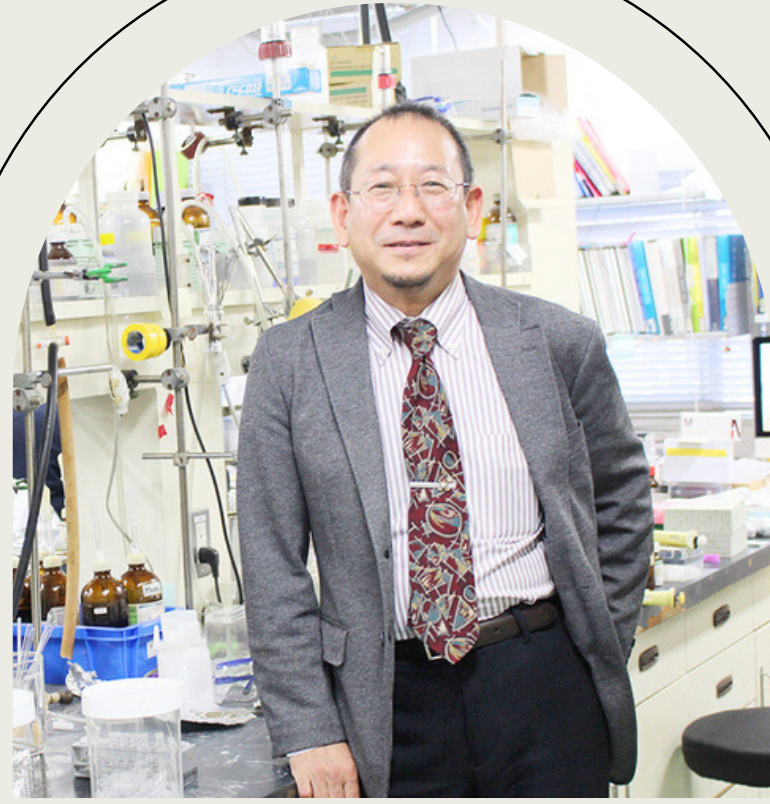
藤原 祥子

環境応用植物学
研究室

11:30-11:45
14:40-14:55

生命科学（バイオ）の力で食品・環境・エネルギーの未来を拓く

現在、国連サミットで採択されたSDGsが注目されており、食品・環境・エネルギー問題に対する目標、中でも気候変動に具体的な対策をという目標が大きくクローズアップされています。今回の講義では、食品・環境・エネルギー問題に対するバイオの可能性、特に微生物利用について紹介します。



生命科学部

林 良雄

創薬化学研究室

11:50-12:05
15:00-15:15

世界にたった1つの化合物 ～新薬を創る～

東薬で私たちが行ったコロナ治療薬開発への挑戦をご紹介します。あなたも東薬に入学して製薬企業やアカデミアで活躍する創薬研究者をめざしませんか（^_^）



生命科学部

細道 一善

ゲノム情報
医科学研究室

12:10-12:25
15:20-15:35

あなたの中の取扱説明書：ゲノムのはなし

「ゲノム」ってなんだか難しそう...？実は、私たちの生活にも関わっている身近な存在なんです！この講義では、ゲノムについてわかりやすくお話しします。



7.27 (sun)



薬学部

谷口 敦彦

11:10-11:25
14:20-14:35

薬品化学教室

化学で見てくるクスリの世界 ～クスリってどんな「カタチ」？～

クスリは全て化学物質であり、各々が個性豊かな化学構造すなわち「カタチ」を持っています。この「カタチ」を理解すれば、クスリがなぜ効くのか鮮明に見えてきます。このようなクスリの化学を紹介します。



薬学部

鈴木 賢一

11:25-11:40
14:35-14:50

臨床薬理学教室

病院薬剤師が実践するがん治療の研究

薬剤師が行う研究と聞いて病院に勤務する薬剤師も医療に大きく貢献する研究を行っていることは、まだまだ知られていません。抗がん薬の副作用を予防する治療法の開発は、病院薬剤師が主体で実施した研究の成果が国際的に認められ、全国で抗がん薬治療を受ける患者さんの副作用対策に大変役立っています。これらの研究に実際に携わった経験をもとに、病院薬剤師が行う研究についてわかりやすく解説します。



生命科学部

野口 航

応用生態学
研究室

11:30-11:45
14:40-14:55

植物の葉は日焼けのダメージを受けないのか？ 葉の光合成系の強光への適応機構

動けない陸上植物では、強すぎる光を受けても、光合成をするために葉を広げる必要があります。この講義では、植物の葉がもつ強光への適応のしくみについて紹介します。



生命科学部

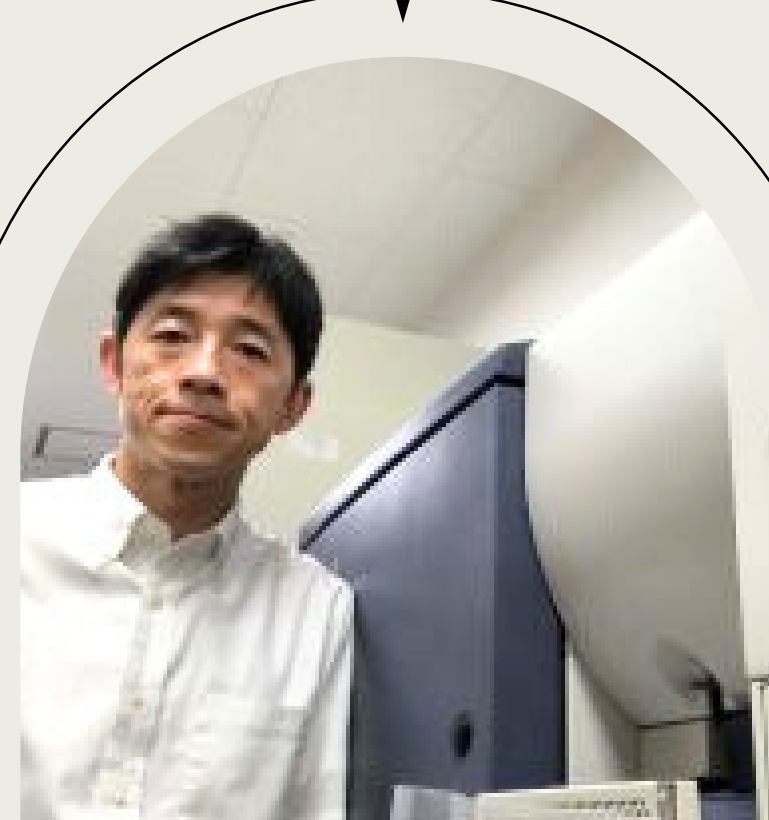
伊藤 昭博

細胞情報科学
研究室

11:50-12:05
15:00-15:15

遺伝子発現を操って病気を治す

遺伝子からタンパク質が作られる過程「遺伝子発現」は、生命活動を支える基本的なしくみです。本授業では、遺伝子発現をコントロールするメカニズムや、それを操って病気を治す最先端の研究を紹介します。



生命科学部

平位 秀世

幹細胞制御学
研究室

12:10-12:25
15:20-15:35

はたらく幹細胞

私たちの体は数十兆個もの細胞から構成されています。幹細胞は、このような多細胞生物の生命を維持するために重要な役割を担っており、血液系の幹細胞を中心にその仕組みについて解説します。